



関西大学 授業アンケート

2022年度秋学期 実施マニュアル

Contents

I	概要	2
II	受講生によるアンケートへの回答	4
III	アンケート結果の閲覧	6
IV	アンケート質問項目	13
V	学生からの結果閲覧方法	17
VI	Q&A	18

1 目的

本アンケートは、授業を受講した学生の声を聞き、学生の学習態度や到達目標の達成度も踏まえて、当該年度以降の持続的な授業改善に資する情報を提供することを第1の目的としています。第2に、学生に対する結果の公表を通じて、回答した学生自身の学習活動の振り返りを促進するとともに、次年度以降の他の学生の履修上の参考としても役立てることを目的としています。第3に、広く結果の公表を行うことによって、教員同士のFD・教職員を含む大学運営業務に携わる者のSDを可能にすることや、学生および教職員等*に対する本学の教育活動への理解を促すことも目的としています。

こうした目的のもと、本アンケートの結果を教員および学生に公開し、活用していくことによって、本学の教育の質保証・質向上の実現を目指します。

* インフォメーションシステムログインIDを有する者（詳細はP19Q5参照）

2 実施期間

2022年12月19日（月）～2023年1月31日（火）

3 手順

（1）担任者に対してアンケート実施依頼をメール送付

事務局より、担任者が大学に登録しているメールアドレス宛に、実施方法に関する詳細をお送りします。なお、送付は2回（アンケートシステム稼働日、アンケート開始から2週間程度後）を予定しております。

（2）担任者は回答依頼用紙をダウンロード・受講生に配付

インフォメーションシステム「授業アンケート」より、授業アンケートを実施する科目を選択し、回答依頼用紙をダウンロードしてください。その回答依頼用紙を関大LMS等を通じて受講生に配付してください。

（３）受講生は回答依頼用紙を受け取りアンケートへ回答

受講生には、回答依頼用紙に記載のQRコード（またはURL）を読み取り、アンケートに回答するよう指示してください。

（４）アンケート結果の確認

アンケート実施後、担任者はインフォメーションシステム「授業アンケート」から結果が確認できます（即時・随時集計）。

全学集計が確定（実施期間終了後、2週間程度）しましたら、全学平均との比較やクロス集計などを担任者の手元で確認することができます。

なお、科目ごとの回答結果PDFはシラバスシステムを通じて原則学内公開（受講生以外の学生、担任者以外の教職員含む）されます。

対面授業をご担当する先生方へ

- 対面授業においても、回答依頼用紙をシステムから各自ダウンロードいただき、関大LMS等を通じて通知したり、回答依頼用紙を印刷の上、授業中に提示または配付するなど、**授業中のアンケート実施にご協力をお願いいたします。**
- 対面授業においては、新型コロナウイルスの感染防止に配慮した受講配慮申請に基づく受講生や欠席者がアンケートに回答できるように、適宜、回答依頼用紙のダウンロード・配信を行ってください。

Ⅱ 受講生によるアンケートへの回答

1 回答依頼用紙のダウンロード

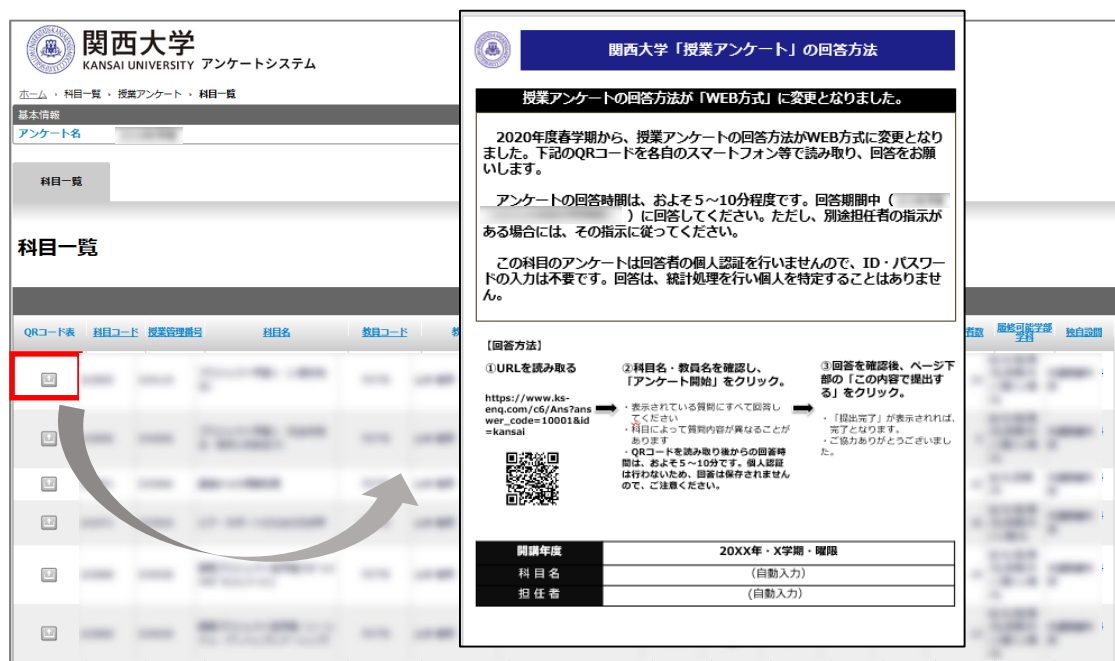
以下の方法により、回答依頼用紙をダウンロードすることができます。ダウンロードした回答依頼用紙を関大LMS等を通じて受講生に周知し、アンケートを実施してください。

(1) インフォメーションシステム「教務情報」>「授業アンケート」>「科目一覧」をクリックする



(2) 「科目一覧」から「QRコード」を選択すると、回答依頼用紙がダウンロードできます。

※回答依頼用紙は「科目ごと」に異なりますのでご注意ください。



Ⅱ 受講生によるアンケートへの回答

2 回答依頼用紙を受講生に周知

(1) 受講生への周知方法

ダウンロードした回答依頼用紙は、「関大LMS」のメッセージ機能を通じて受講生に送付してください。

関西大学インフォメーション&関大LMS操作マニュアル

www.kansai-u.ac.jp/ctl/teacher/pdf/kyouin_2022_web.pdf



(2) 周知する際の説明文

受講生に周知する際、以下の説明用テンプレートを活用してください（適宜手直しただいて構いませんが、回答しやすいよう配慮をお願いいたします）。

【説明用テンプレート】

件名：秋学期授業アンケートにご協力ください。

このアンケートの目的は以下の3つです。

第1の目的は、授業を受講した学生の声を聞き、学生の学習態度や到達目標の達成度も踏まえて、当該年度以降の持続的な授業改善に資する情報を提供することです。第2の目的は、学生に対する結果の公表を通じて、回答した学生自身の学習活動の振り返りを促進するとともに、次年度以降の他の学生の履修上の参考としても役立てることです。第3の目的は、広く結果の公表を行うことによって、教員同士のFD・教職員のSDを可能にすることや、学生および教職員に対する本学の教育活動への理解を促すことです。こうした目的のもと、このアンケートを実施・活用していくことによって、本学の教育の質保証・質向上の実現を目指します。

※回答結果は統計としてまとめ、個人情報として公表されることはありません。また、成績評価とは一切関係がありません。

※回答は任意であり、回答しない場合であっても何ら不利益を被ることはありません。答えたくない質問があった場合は、飛ばしてもらってかまいません。また、回答を続けたくない事情が生じた場合には、途中でやめてもかまいません。

※得られた情報は上記の目的以外には利用しませんので、アンケートの趣旨をよく理解し、率直な声をお聞かせください。

回答期間：2022年12月19日（月）～2023年1月31日（火）

回答方法：添付資料のQRコードまたはURLを読み取り、スマートフォン・PC等から回答

回答時間：およそ5～10分程度

—————（独自項目を設定する場合、以下を記入）—————

独自項目：問10については以下の内容についてお答えください。

例「関連書籍や資料を提示したことにより理解が深まりましたか」

(3) 担任者独自質問の指示【学部のみ】

問10は、担任者が独自に質問を設定することができます。担任者が独自に質問をする場合には、受講生に周知する際に質問事項を上記のように示してください（実際の質問項目はP.13参照）。

Ⅲ アンケート結果の閲覧

1 概 要

(1) 速報値の確認

アンケート実施期間中は、担当科目の回答状況（速報値）を確認することができます。



(2) 回答結果の確認

アンケート実施期間の終了後、全学集計を行います。その後、全学平均と担当科目の比較表示や科目ごとのクロス集計をすることができます。

※学部アンケートの自由記述内容および大学院アンケートの内容はアンケート結果（ローデータ）をダウンロードすることで確認ができます。（P.11参照）

2 集計結果（速報値）の確認【学部】

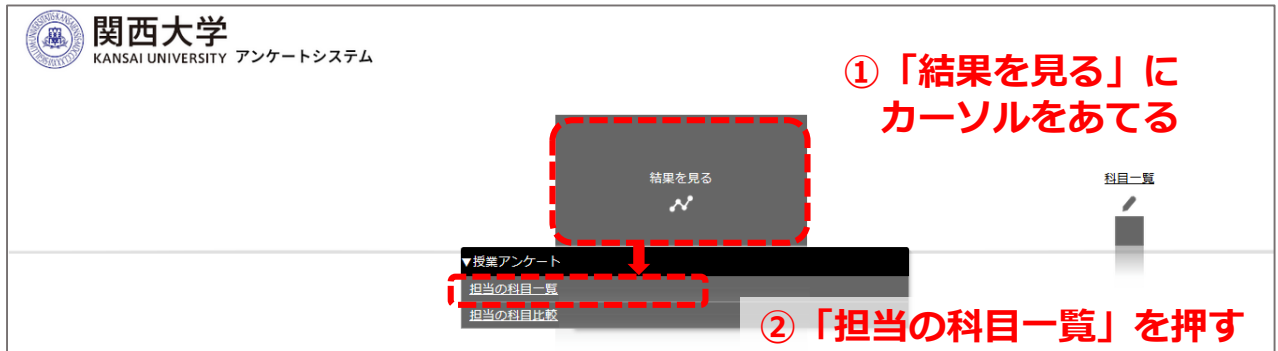
アンケート実施後、下記の手順で集計結果（速報値）を確認することができます。

(1) インフォメーションシステムにログインし、「教務情報」>「授業アンケート」をクリック



Ⅲ アンケート結果の閲覧

(2) 「結果をみる」>「担当科目の一覧」をクリックする



(3) 担当科目の一覧から「集計結果（速報）」をクリックする

現時点の集計結果が表示されます

3 集計結果を閲覧する【学部】

アンケート実施期間終了後、全学集計を行います。その後、集計結果（PDF形式）を閲覧できます。

関西大学 KANSAI UNIVERSITY アンケートシステム

ホーム > 結果を見る > 授業アンケート > 担当の科目一覧

結果を見る

科目一覧

担当の科目一覧

※ 集計結果（PDF）は、全学集計が終了した後に表示されます。

1 - 4 / 4件

集計結果 (PDF)	集計結果 (PDF)	集計結果 (PDF)	集計結果 (PDF)	集計結果 (PDF)	科目コード	授業管理番号	科目名	教員コード	教員名	担当担当場所	担当・学部	授業区分	曜日	時間	履修者数	出席者数	出席率	履修可能学部	独自設問
+	+	+	+	+															
+	+	+	+	+															
+	+	+	+	+															
+	+	+	+	+															

①「集計結果（PDF）」列のボタンを押す

②結果表が表示される

学期 授業アンケート (学部) 集計結果 関西大学

科目名	担任者	履修者数	出席者数	出席率
◆共通設問				
1 あなたにとってこの授業の進捗は適切でしたか。				
2 あなたにとってこの授業の難易度は適切でしたか。				
3 授業はシラバス(授業概要、到達目標、授業計画)に沿って行われましたか。				
4 担任者は、受講生の理解率を確かめながら授業を進めていましたか。				
5 この授業で工夫してほしいと思うものをすべて選んでください。(複数選択)				
6 予習復習、準備、課題のために、授業1回あたり平均してどの程度授業時間以外に費やしましたか。				
7 この授業について意欲的に取り組みましたか。				
8 あなたは、この授業の到達目標をどの程度達成しましたか。				
9 総合的に判断して、この授業は意義のあるものでしたか。				
10 このアンケートシステムで工夫してほしいと思うものをすべて選んでください。				
◆学部等独自設問				
11				

結果一覧画面で、結果を確認したいアンケートの「集計結果（PDF）」列にあるボタンを押すと集計結果（PDF）が表示されます。（アンケート回答期間中は表示されません。）

Ⅲ アンケート結果の閲覧

4 クロス集計を確認する【学部】

各科目の集計結果について、項目ごとにクロス集計をすることができます。クロス集計をしたい設問を選択して「クロス集計表示」をクリックすると結果が表示されます。

(1) 「担当科目の一覧」からクロス集計する科目を選択する

関西大学 KANSAI UNIVERSITY アンケートシステム

ホーム・結果を見る・授業アンケート・担当の科目一覧

結果を見る

科目一覧

担当の科目一覧

※ 集計結果 (PDF) は、全学集計が終了した後に表示されます。

① 「クロス集計」列のボタンを押す

集計結果 (PDF)	集計結果 (PDF)	ローダー	クロス集計	科目コード	授業管理番号	科目名	教員コード	教員名	担当・学部	授業区分	曜日	時限	履修者数	回答者数	回答率	履修可能学部	独自設問

(2) クロス集計する設問を選択し結果を表示させる

分析対象科目

年度	科目名	教員名	曜日	時限	履修者数	回答者数

▽ 設問文を選択後、「クロス集計表示」をクリックする

② クロス集計したい設問を選択する

クロス軸	設問文 (選択してください)
表側 (縦軸)	(平均点: ...) 設問4 担任者は、受講生の理解度を確かめながら授業を進めていましたか。
表頭 (横軸)	(平均点: ...) 設問6 予習復習、準備、課題のために、授業1回あたり平均してどの程度授業時間以外に費やしましたか。

クロス集計表示

③ 「クロス集計表示」を押す

設問4×設問6のクロス集計

		設問6						
		予習・復習を全くしなかった	30分未満	30分～1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3時間以上	無効
進めていた	度数							
	%							

5 担当科目の集計結果を比較する【学部】

各科目の集計結果について、科目間で項目比較することができます。

(1) 「結果を見る」から「科目比較担当の科目一覧」を表示する



関西大学
KANSAI UNIVERSITY アンケートシステム

①「結果を見る」に
カーソルをあてる



②「担当の科目比較」を押す

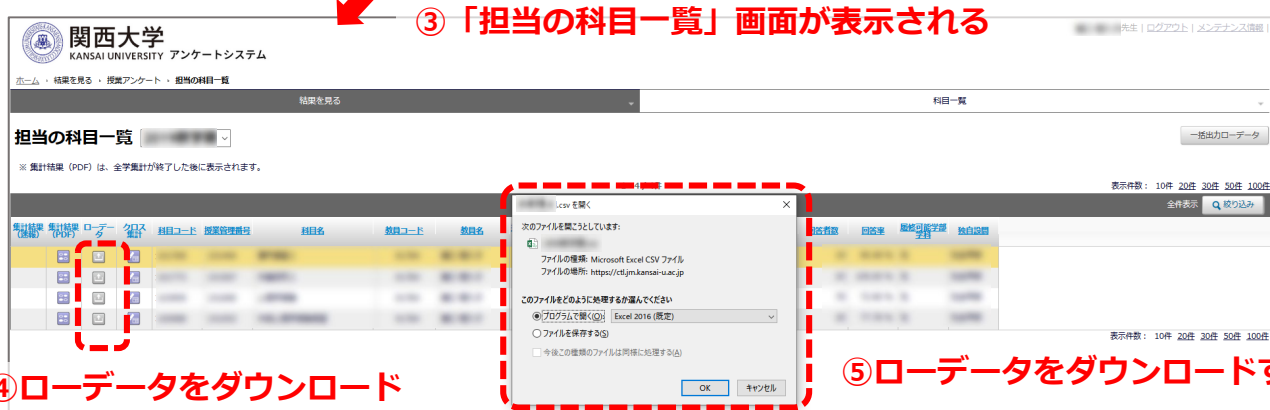
(2) 比較する科目を選択しグラフを表示する (2科目以上選択することも可能)

[illegible]

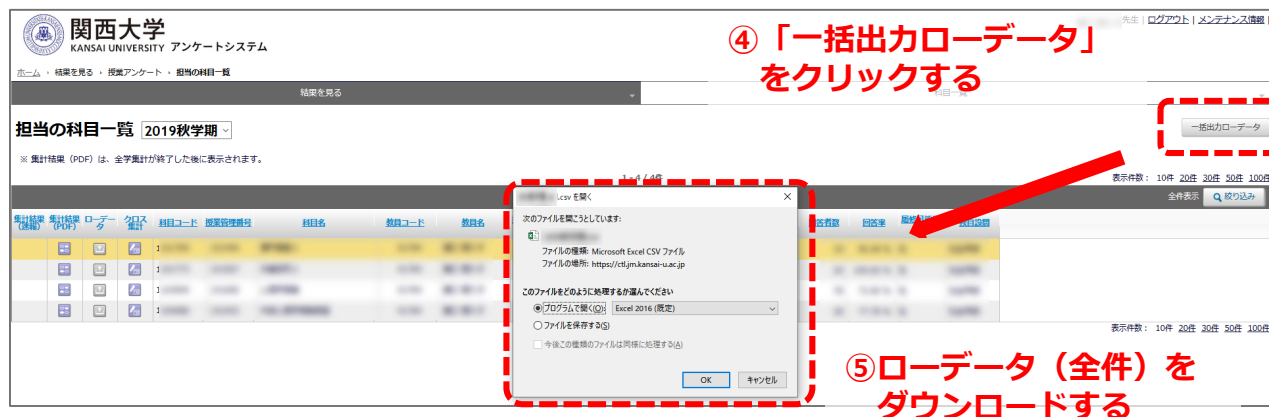
6 アンケート結果のデータをダウンロードする【学部・大学院】

アンケート結果（ローデータ）をダウンロードすることができます。

（１）科目ごとのローデータをダウンロードする



（２）回答者のローデータ（全件）をダウンロードする



7 集計結果の公開・非公開設定をする【学部】

集計結果（PDF形式）は、回答期間終了後、1か月以内を目途にシラバスシステムを通じて原則学内へ公開されます。非公開を希望する場合は、2月13日（月）までに設定変更をしていただく必要がありますので必ずご確認ください。

※「公開」では、担任者、受講生、受講生以外の学生および担任者以外の教職員の閲覧が可能です。

※「非公開」を選択した場合、結果は担任者のみが閲覧できます。受講生、受講生以外の学生および担任者以外の教職員は閲覧不可です。

※シラバスシステムからの閲覧方法はP.17を参照してください。

関西大学 KANSAI UNIVERSITY アンケートシステム

ホーム > 科目一覧 > 授業アンケート > 科目一覧

基本情報
アンケート名 2021春学期 学部

科目一覧

科目一覧 CSV出力

1 - 9 / 9件 表示件数: 10件 20件 30件 50件 100件 全件表示 絞り込み

教員コード	教員名	サブ教員	振込担当教員	担当・学部	授業区分	曜日	時間	履修者数	履修可能学部	独自設開	クラス	公開範囲
00001	山田太郎	山田太郎	山田太郎	工学部	工学部	月	1	10	工学部	独自設開	工学部	☐ 公開 ☒ 非公開
00002	山田太郎	山田太郎	山田太郎	工学部	工学部	月	2	10	工学部	独自設開	工学部	☒ 公開 ☐ 非公開
00003	山田太郎	山田太郎	山田太郎	工学部	工学部	月	3	10	工学部	独自設開	工学部	☒ 公開 ☐ 非公開
00004	山田太郎	山田太郎	山田太郎	工学部	工学部	月	4	10	工学部	独自設開	工学部	☒ 公開 ☐ 非公開
00005	山田太郎	山田太郎	山田太郎	工学部	工学部	月	5	10	工学部	独自設開	工学部	☒ 公開 ☐ 非公開
00006	山田太郎	山田太郎	山田太郎	工学部	工学部	月	6	10	工学部	独自設開	工学部	☒ 公開 ☐ 非公開
00007	山田太郎	山田太郎	山田太郎	工学部	工学部	月	7	10	工学部	独自設開	工学部	☒ 公開 ☐ 非公開
00008	山田太郎	山田太郎	山田太郎	工学部	工学部	月	8	10	工学部	独自設開	工学部	☒ 公開 ☐ 非公開
00009	山田太郎	山田太郎	山田太郎	工学部	工学部	月	9	10	工学部	独自設開	工学部	☒ 公開 ☐ 非公開

1 - 9 / 9件 表示件数: 10件 20件 30件 50件 100件

アンケートシステム内の「科目一覧」画面から「公開・非公開」を設定する

Ⅳ アンケート質問項目

1 授業アンケート 質問項目【学部】

学生には、以下の質問項目（全学共通10問）に加え、学部独自質問（最大5問）を尋ねています。

Q1 あなたにとってこの授業の進度は適切でしたか。

- ①遅い ②やや遅い ③適切 ④やや速い ⑤速い

Q2 あなたにとってこの授業の難易度は適切でしたか。

- ①易しい ②やや易しい ③適切 ④やや難しい ⑤難しい

Q3 授業はシラバス(授業概要、到達目標、授業計画)に沿って行われましたか。

- ①行われた ②ある程度行われた ③どちらともいえない
④あまり行われなかった ⑤行われなかった ⑥シラバスを見ていない

Q4 担任者は、受講生の理解度を確かめながら授業を進めていましたか。

- ①進めていた ②ある程度進めていた ③どちらともいえない
④あまり進めていなかった ⑤進めていなかった

Q5 この授業で工夫してほしいと思うものをすべて選んでください。（複数選択）

- ①シラバス ②授業計画 ③配付教材 ④授業中の環境 ⑤説明の仕方
⑥提示の仕方（板書やパワーポイントなど） ⑦授業内容 ⑧時間外学習の支援
⑨学生への接し方 ⑩課題のフィードバック ⑪特にない

Q6 予習復習、準備、課題のために、授業1回あたり平均してどの程度授業時間以外に費やしましたか。

- ①予習・復習を全くしなかった ②30分未満 ③30分～1時間未満
④1～2時間未満 ⑤2～3時間未満 ⑥3時間以上

Q7 この授業について意欲的に取り組みましたか。

- ①意欲的に取り組んだ ②ある程度意欲的に取り組んだ ③どちらともいえない
④あまり意欲的に取り組んでいない ⑤意欲的に取り組んでいない

Q8 あなたは、この授業の到達目標をどの程度達成しましたか。

- ①達成できた ②ある程度達成できた ③あまり達成できなかった
④達成できなかった ⑤到達目標を知らない

Q9 総合的に判断して、この授業は意義のあるものでしたか。

- ①意義のあるものだった ②ある程度意義のあるものだった
③どちらともいえない ④あまり意義あるものでなかった
⑤意義のあるものでなかった

Q10 担任者が示す質問に対して5段階で評価してください。

- ①そう思う ②ややそう思う ③どちらともいえない
④あまりそう思わない ⑤そう思わない

Q4は、対面授業でない場合でもお答えください。例えば、授業外であっても関大LMSなどを用いて理解度を確認している場合やレポートなどによる確認の場合もありますので、それも含めて総合的に回答してください。

Q5は、対面授業でない場合は、あてはまるもののみ回答してください。「⑥提示の仕方」は板書ではなくパワーポイントのみで回答してください。

2 授業アンケート質問項目【学部】

下記の自由記述項目をアンケート回答時に入力することとします。なお、2は担任者が自由記述項目を指示できますので、学生に尋ねたい質問項目がある場合には、指示してください。

記入上の注意：

この授業に対する意見・要望等（施設設備に対するものも含む）がありましたら、自由に入力してください。内容は担任者が直接閲覧するものです。入力にあたっては下記の注意事項を守ってください。

- ①授業改善に関連しない事項は入力しないでください。特に容姿・差別・民族・出身（国・地域）等に関わる差別的・侮辱的表現は厳に慎んでください。
- ②複数担任の担当する科目の場合は、どの教員に対するコメントであるかを明記してください。

1 この授業の①よかったところ、②継続してほしいところ、③改善・提案できるところがあれば入力してください。

2 以下、担任者の指示がある場合にのみ入力してください（指示がない場合には、何も記入しないでください）。

必要に応じて、所属・学年・学籍番号・氏名の入力ができます。担任者の判断により入力の必要がある場合には、指示してください。

※以下、担任者からの指示があった場合に入力してください。

- 1 所属（学部・研究科）
- 2 学年
- 3 学籍番号
- 4 氏名

Ⅳ アンケート質問項目

3 授業アンケート 質問項目（大学院）

（１）理工学研究科を除く研究科のアンケート

次の各項目についてお答えください。

- 1 この授業の内容はいかがでしたか。（内容：授業内容が期待どおりであったか、わかりやすくする工夫がなされていたか等）

- 2 この授業についての教授方法は適切だと思いましたか。（内容：担任者の姿勢、配付資料の適切さ、情報機器の利用等）

- 3 この授業による成果は満足のいくものでしたか。（内容：理解することができたか、受講前より興味を持ったか等）

- 4 この授業に対するあなたの受講姿勢はいかがでしたか。（内容：よく出席したか、予習・復習など意欲的に取り組んだか等）

- 5 この授業に関する施設・設備・機器は適切でしたか。（内容：設備・情報機器等の充実度、効果等）

- 6 その他、この授業に関するご意見をお書きください。

※質問5は、対面型授業を想定しており、受講科目が対面型授業の場合にのみ回答してください。

Ⅳ アンケート質問項目

3 授業アンケート 質問項目（大学院）

（2）理工学研究科のアンケート

次の各項目についてお答えください。

1 この科目を受講して良かったと思われる点を記述してください。

2 この科目の講義方法について提案できることがあれば記述してください。

3 その他、この講義に関する意見があれば記述してください。

V 学生からの結果閲覧方法

1 結果閲覧方法（学生・教職員）

学生や教職員は、以下の方法で過年度（2020年度以降）を含む科目ごとの集計結果の閲覧が可能です。

（１）インフォメーションシステムにログインし、「教務情報」＞「シラバス検索」をクリックする



（２）「科目検索」から該当科目を検索すると、シラバス内の最下部に結果PDFが表示されます（未実施の科目は項目自体が非表示）。



Q1 3つのポリシー、シラバスとの関係はどのようになっていますか。

A 建学の精神、学是から導かれた「考動力」の育成を軸として、大学全体の3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）をHP上に公開しています。また、大学全体の方針を踏まえ、13学部がそれぞれの3つのポリシーを示し、これもHP上で公開しています。

シラバスでは、各学部のディプロマ・ポリシーに基づき、個々の授業科目の関係（対応）を明示しています。担任する科目の関係性を整理することで学士課程（カリキュラム）を通じて育成すべき学力・能力を可視化することが目的です。

そのなかで授業アンケートは、個々の授業のそれぞれの到達目標への到達度を通じて、それぞれがディプロマ・ポリシーの達成に向けて適切な貢献をはたしているのかどうか、をボトムアップ的に確認をすることが可能となります。

Q2 担任者独自質問（学部のみ）は、どのように活用すればよいですか。

A 担任者が独自に受講生に聞きたい項目をアンケートすることができます。

具体的には問10を活用してください。例えば、TA（ティーチングアシスタント）やLA（ラーニングアシスタント）を活用している場合の効果検証に活用したり、関連書籍や資料を提示して理解が深まったかといった理解度の確認をしたりと、質問の活用方法は様々です。

質問の活用方法などの支援は、教育開発支援センターが行っていますのでお気軽にお尋ねください。

Q3 URL・QRコードは、全科目で共通のものでしょうか。

A URL・QRコードは科目ごとに異なります。

担任科目以外のURL・QRコードを読み取り回答すると、正しい回答にはなりません。回答にあたっては、「年度・学期」「科目名」「担任者名」が回答画面に表示されますので、必ず確認するよう受講生に指示してください。

Q4 受講生の匿名性は守られますか。

A 守られます。

受講生はURL・QRコードを読み取り回答する際には、個人情報の入力はありません。また、システム上、回答者を識別することはできない仕組みとなっています。

Q5 授業アンケート結果の公開範囲について教えてください。

A 公開範囲は次のとおりです。

①学部の授業アンケートの科目ごとの回答結果

⇒集計期間終了後、シラバスシステムを通じて原則学内へ公開（インフォメーションシステムログインIDを有する者）されます。非公開（担任者のみ確認）を選択する場合は、非公開設定を行ってください。なお、学部アンケートの自由記述項目は公開対象に含みませんので、担任者のみの確認となります。

※インフォメーションシステムログインIDを有する者とは、学生/教員（専任・非常勤・客員教授・研究員・名誉教授）/職員（専任・定時）を指します。上記の他、役員（理事長・理事・監事・評議員・顧問）もIDを有し、広く結果の公開を行うことによって、大学運営業務に携わる者のSDを可能にします。

※非公開設定方法はP.12、シラバスシステムからの閲覧方法はP.17を参照してください。

②学部の授業アンケートの全学集計結果

⇒回答期間終了後、教育開発支援センターが集計し、その結果をWebページにて一般公開します（<https://www.kansai-u.ac.jp/ctl/teacher/enquete.html>）

③大学院の授業アンケートの回答結果

大学院の授業アンケートの回答結果については担任者のみの確認とし、公開されません。

Q6 授業アンケートの結果は教員の勤務評定に使われますか。

A 使用されません。

授業アンケート実施にあたり、結果の活用にはガイドラインを定めています。そのガイドラインには、「教員個人の評価の資料としては取り扱わない」と明記されており、アンケート結果は、所謂勤務評定には使わないこととしています。

Q7 オムニバス形式の授業はどのように実施したらよいですか。

A オムニバス形式の授業では、採点担当者の指示に従ってください。

オムニバス形式の授業では、担任者全員が授業アンケートシステムを操作できますが、受講生への周知等については、採点担当者の指示に従い、適宜調整をお願いします。

なお、受講生の回答結果についても担任者全員が閲覧することが可能です。インフォメーションシステム「授業アンケート」から結果が閲覧できます。詳細はP.6を参照ください。

Q8 アンケートは決められた期間にしか回答できないのでしょうか。

A 回答期間は、12月12日（月）～1月31日（火）としています。

未回答者等がいる場合を想定して、1月末までの回答が可能です。あまり長い期間バラバラに回答できるようにしてしまうと、回答条件が異なるものになってしまいます。また、受講生以外の回答を排除するため回答期限を設定しています。

Q9 受講生が回答をやり直すことは可能ですか。

A できません。

回答を終え、「提出」ボタンを押すと、その授業科目の回答は確定されます。一度確定されると、担任者および受講生のほうで回答を修正することはできません。そのため、回答前には「年度・学期」「科目名」「担任者名」を確認のうえ、回答は修正できない旨を説明してください。

Q10 回答のローデータはダウンロードできますか。

A アンケートシステムからダウンロードできます。（P.11参照）

またローデータは科目ごとのものとその学期に回答したもの（全体）の2種類があります。

科目ごとのローデータは、授業アンケートシステムにログインし、「結果を見る」>「担当科目の一覧」から科目ごとの回答「ローデータ」をダウンロードすることができます。

学期中に回答された全体のデータは、授業アンケートシステムにログインし、「結果を見る」>「担当科目の一覧」>「一括出力ローデータ」から当該学期の回答データを一括でダウンロードすることができます。

（対面授業での実施による質問）

Q11 授業中にアンケートを実施する必要があるのでしょうか。

A 授業内でアンケートの実施をお願いします。

授業時間内にアンケートを実施することは、受講生が自身の学習成果に関してできるだけ正確な自己評価を行うために望ましいと考えています。また、授業内にてQRコードの配付・回収を行うことで受講生以外の回答を避けることも可能です。加えて、授業時間外では回答を失念する学生がいることも懸念されます。

以上の理由から授業時間内に授業アンケートを実施することは望ましいことではありますが、授業の進捗状況などに合わせまして、担任者の裁量のもとで柔軟に対応いただきたくお願いいたします。

（対面授業での実施による質問）

Q12 回答先へのアクセスはKU-Wifiからの接続でないといけないのですか。

A 必ずしもKU-Wifiからの接続である必要はありません。

受講生が個人で契約しているキャリア回線（docomo、au、SoftBank等の回線）でもアンケートに回答することができます。なお、キャリア回線による接続は契約プランによっては料金が発生する場合があります。キャリア回線を用いたアクセスが学生の意思に基づくものであればそれを止める必要はありませんが、キャリア回線で回答するよう受講生に指示することはやめてください。

(対面授業での実施による質問)

Q13 スマートフォンを持っていない学生にはどう対応したらよいですか。

A スマートフォン以外の端末から回答をお願いします。

PC教室や自宅のPCなどから、回答期間中に回答をするように指示してください。その際に、QRコードが必要な場合は、回答依頼用紙を渡し（持ち帰り）回答するように指示をお願いします。

また、スマートフォン、ノートPC、タブレットなど、授業内でQRコードを読み取ることのできる端末を持っている場合には、負担でない限りそれを持参するようアンケート実施の前の週までに指示しておくこととスムーズにアンケートの実施が可能です。

Q14 「授業アンケート」システム内の教員名・科目名等が誤変換されています。

A アンケートシステム利用時は、以下の推奨環境で使用ください。

■ Windows (PC)

Microsoft Edge、Google Chrome、Mozilla Firefox

■ Mac (PC)

Safari

※翻訳ツール等の拡張機能を使用した場合、推奨環境内においても文字化けする場合がありますので、その際は教育開発支援センター事務局までお問い合わせください。

Q15 授業アンケートの担当部署はどこですか。

A 担当部署は教育開発支援センターです。

ご不明な点などございましたら、下記までお問い合わせください。

【授業アンケートに関する問い合わせ先】

授業支援グループ教育開発支援室（尚文館3階）

E-mail : ctl-staff@ml.kandai.jp

